

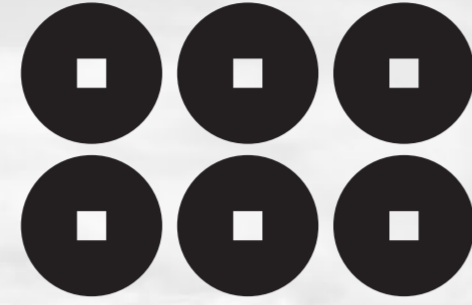
六文銭にこめられた真田の思い

真田家の家紋として知られる六文銭。正式には六連銭といい、死者を葬る際に「三途の川の渡し賃」として棺に一文銭を六枚入れた風習に由来する。これは六道(地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人間道・天道)を流転して生死を繰り返す仏教の輪廻という考え方に基づくもので、各世界で助けを求めるときに六枚の銭が必要だと考えられていた。海野氏の家紋でもあった六文銭を家紋にしたのは、真田家はその正統であることを強調するためだという見方もあるが、一方、幸隆は死を連想させる六文銭を旗印に用いることで、山内上杉家を見切り命を賭して武田家に仕える覚悟を表したという捉え方もある。

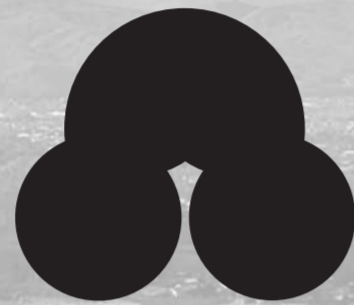
実は、六文銭のほかにも真田家には結び雁金(かりがね:カモメ科のガン)、洲浜(すはま:川の河口部の島状の洲)という家紋があり、戦場では六文銭、生活用品などには結び雁金、祝い事には洲浜と使い分けていたが、徐々に六文銭の使用頻度が高くなったとみられる。

いずれにしても、大阪冬の陣・夏の陣で幸村率いる真田軍が赤い武器で戦った姿が強烈な印象を残したことで六文銭は有名になり、以後、「真田といえば六文銭」のイメージが定着した。家紋がこれほど広く知られているのは、戦国の武将でも珍しい。

真田家の家紋



六文銭(六連銭)



洲浜



結び雁金

上田原の敗戦から砥石城奪還の大逆転

真田家の主である武田信玄が信濃攻略を進めるなか、その行く手に立ちはだかったのは坂城に本拠を置く村上義清だった。武田と村上が激突した上田原の戦い(天文17年)で、武田軍は多くの兵と重臣を失い、信玄自身も負傷。信玄にとって初の大敗となった。

天文19年には義清の重要拠点である砥石城攻めを開始するが、堅固な山城は難攻不落で、長期間のにらみ合いの後に武田軍は撤退を決める。が、村上軍の追撃によって多大な損害を被り、信玄は二度目の大敗北を喫した。これが後に「砥石崩れ」と呼ばれる攻防である。

無敵といわれた信玄を二度も敗退させた村上義清だったが、翌年には幸隆が砥石城を奪い取っている。戦国時代の記録史料『高白斎記』に「砥石ノ城真田乗取」とあるだけで詳細は不明だが、幸隆は得意の策謀をめぐらせて内部からの切り崩しを図ったのだろうか。砥石城攻略という快挙によって幸隆は本領である真田を奪還し、また武田配下としての地位を揺るぎないものにしたのだ。



毎年11月3日に開催される砥石米山城まつりで再現される白米伝説

ご案内 温泉、体験、特産品など

歴史館

真田氏歴史館

時代を駆け抜けた真田氏ゆかりの品々がある資料館。真田三代の歴史が分かる人気のスポット。

長野県上田市真田町本原2984-1
TEL:0268-72-4344
AM9:00~PM4:00
(企画展開催期間中は~PM5:00)
火曜日、年末年始定休
(火曜日祝日の場合翌日定休)
大人:200円 小中学生:100円



観光案内所・体験・お土産

ゆきむら夢工房

真田エリアの観光案内所。そば打ちなど食の加工体験などもでき、電動アシスト自転車の無料貸出もしている。

長野県上田市真田町長6090-1
TEL:0268-72-2204
AM8:30~PM5:15
年末年始定休



野菜直売所

新鮮市真田

地元真田地域の野菜や山菜、きのこ、果物のほか地元ならではの加工品も販売している直売所。

長野県上田市真田町長6109-1
TEL:0268-72-2030
5月~11月 AM8:00~PM4:00
12月~4月 AM9:00~PM2:00
年末年始定休



温泉

真田温泉(ふれあいさなだ館)

天然温泉(アルカリ性単純温泉)、お食事、温泉プールなども完備した旅の疲れを癒す日帰り温泉施設です。

長野県上田市真田町長7369-1
TEL:0268-72-2500
AM10:00~PM9:30(受付PM9:00まで)
火曜日定休(祝日の場合は翌日)
大人:500円 小中学生:250円



地藏温泉(十福の湯)

県下最大級の庭園露天で人気の日帰り温泉。またお食事もメニューが充実している。本格石窯焼きビザも人気。

長野県上田市真田町傍陸9097-70
TEL:0268-75-3855
AM10:00~PM10:00(受付PM9:30まで)
(12月1日~3月中旬は閉館が1時間速くなります)
不定休
平日・大人:600円(土日祝:650円) 小学生:300円



千古温泉

神川溪谷にある日帰り温泉。上流には真田十勇士の霧隠才蔵が忍者修行をしたといわれる千古の滝がある。

長野県上田市真田町長6395
TEL:0268-72-2253
AM10:00~PM8:00
毎月20日定休(土・日曜日の場合は営業)
大人:500円 小中学生:250円



角間温泉(岩屋館)

真田の里の隠し湯として名高い角間温泉にある大自然に囲まれた静かな一軒宿。(茶褐色の炭酸泉)

長野県上田市真田町長2868
TEL:0268-72-2323



お食事処

食事処しんりん(そば、定食)

TEL:0268-72-3986
定休日:火曜日(休日の場合は翌日)

味扇(あじせん)

TEL:0268-72-4084
定休日:月曜日

焼き鳥 三代

TEL:0268-72-4946
PM5:00~PM10:00 不定休

穀蔵(こくぞう)

TEL:0268-21-8000
AM11:00~PM6:00 定休日:火・水・木曜日
天然酵母を使用したオーガニックなパンが逸品です

隠れ料理酒房 真流屋(まるや)

TEL:0268-72-0825
PM5:30~PM10:30 定休日:月曜日

掲載内容は平成27年4月30日付の情報に基づいております。

渋沢温泉

薪で沸かし、毎日湯をはりかえている日帰り温泉。

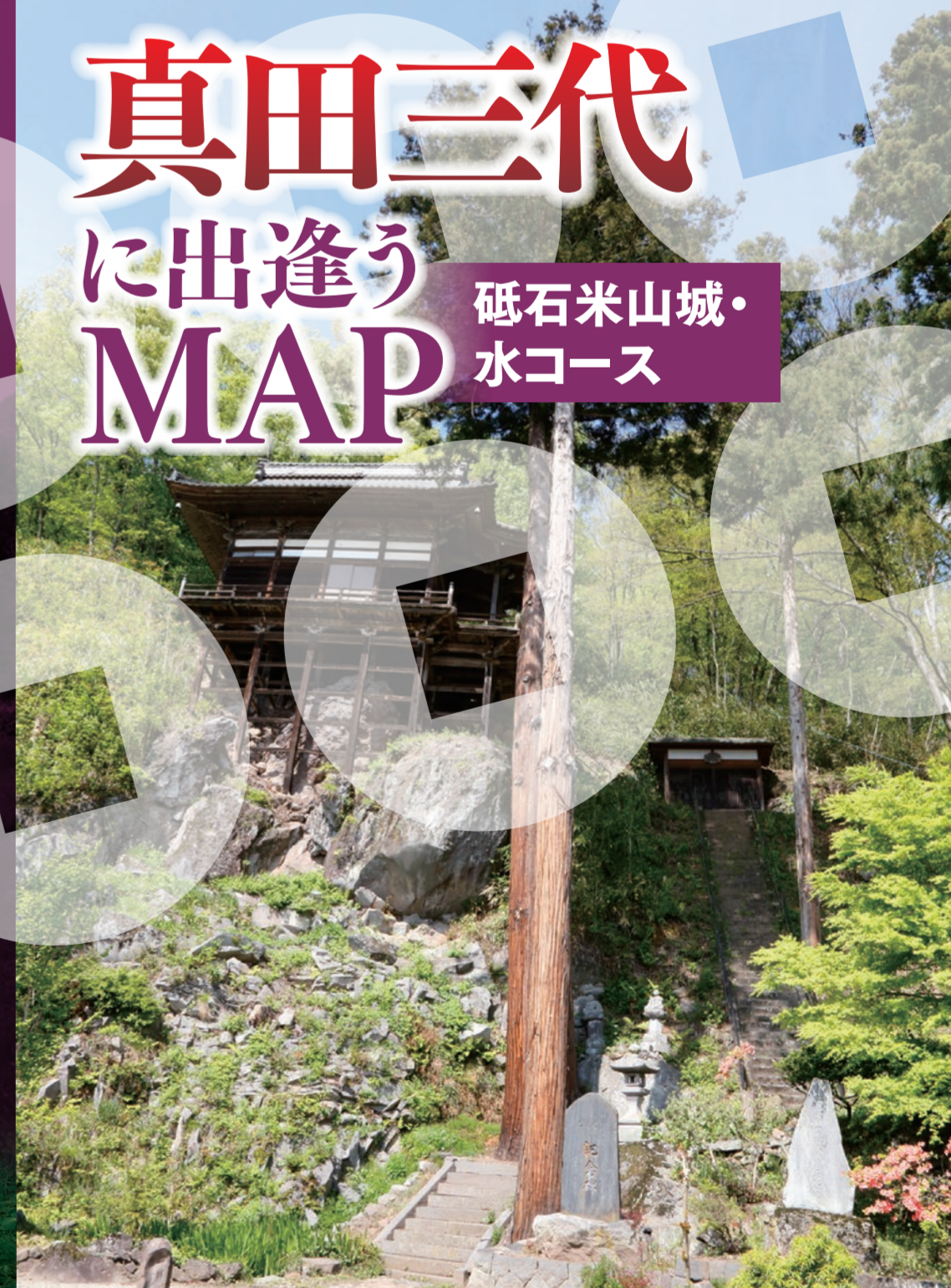
長野県上田市真田町長1317-6
TEL:0268-72-3224
AM10:00~PM8:00
毎週水曜日定休
大人:500円 小学生:250円 乳幼児:無料



問い合わせ:上田市真田地域自治センター産業観光課
長野県上田市真田町長7178-1
TEL:0268-72-4330 FAX:0268-72-8133
Email:ssangyo@city.ueda.nagano.jp

真田三代に出逢うMAP

砥石米山城・水コース



1 伊勢山バス停

2009年公開された映画「サマーウォーズ」は上田が舞台。そのメインである陣内家に主人公たちが向かう最中利用したのがこの伊勢山のバス停。映画にもこのバス停にそっくりなバス停が出てくる。



2 庚申塔

上州街道が横断し横町が形成され、庚申塔から砥石城大手口へと縦町が構成されている。庚申塔は寛政12年のもので、隣に二十三夜塔・馬頭観音・道祖神もある。



3 砥石・米山城址登山口

この登山口は砥石城と米山城の分岐点を経由して登るコースのスタート地点になる。砥石・米山城は、市内の70を超える山城の中でも最も大きなスケールを誇る。支城である米山城は標高734mで主郭は19×34m。コースの詳細は「信州上田真田氏ゆかりの山城案内」をご覧ください。



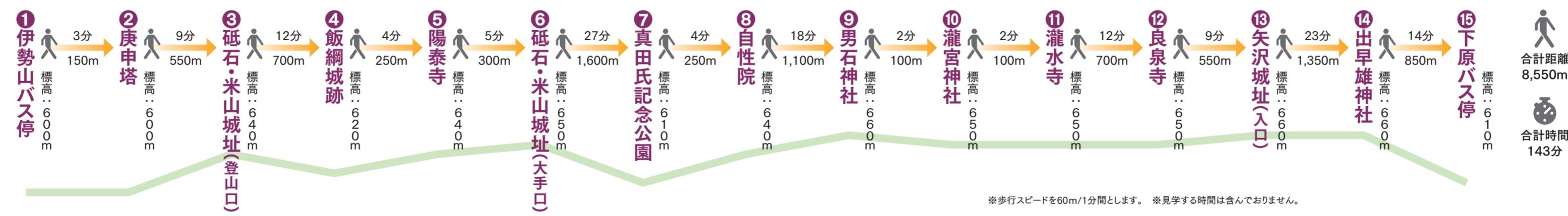
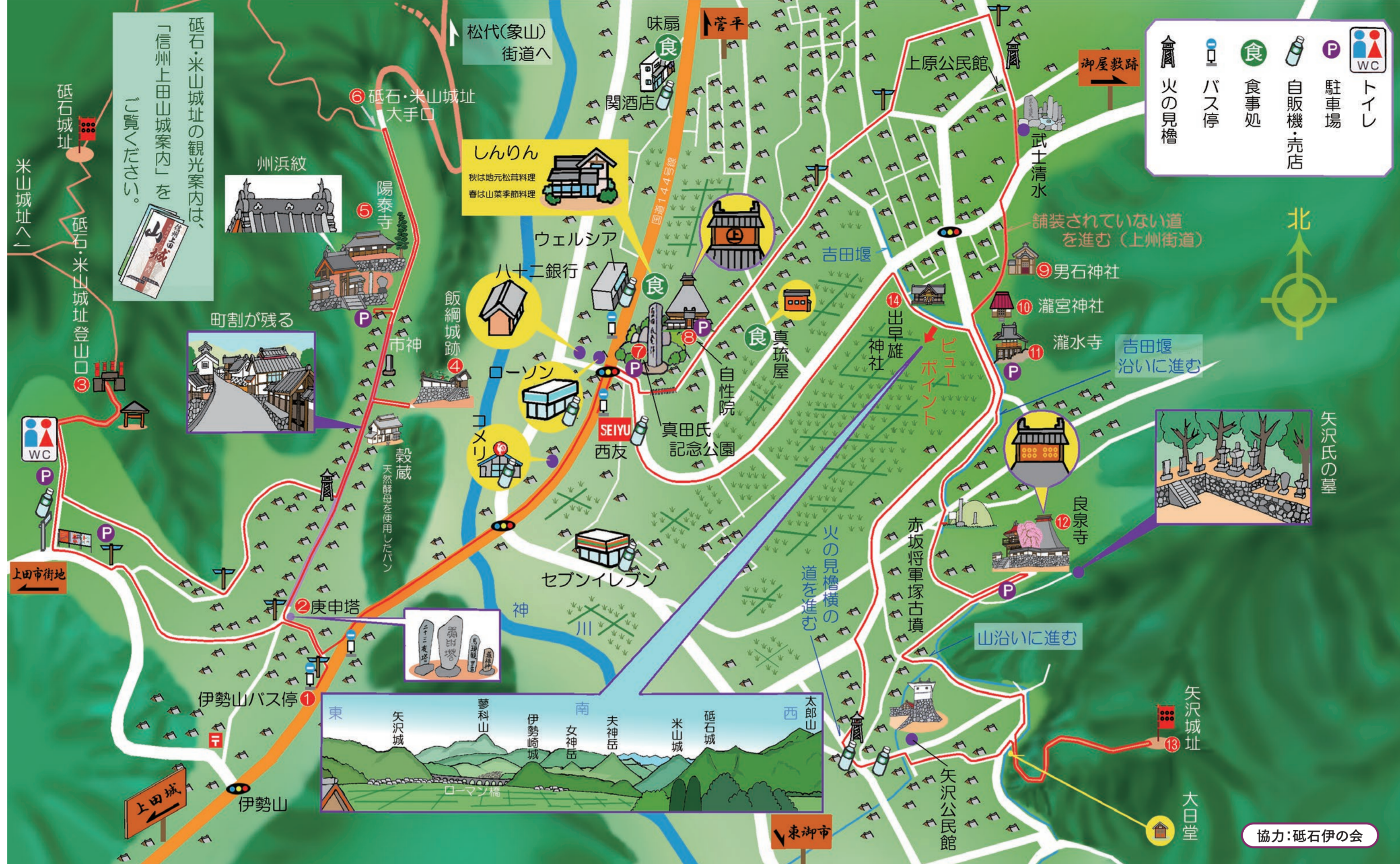
4 飯綱城跡(旧伊勢山集会所)

砥石・米山城の誓といわれている。この飯綱城跡に明治23年、伊勢山の集会所が建てられ、太く立派な小屋組の木材は赤井の山から引き出して来たものといわれている。大変頑丈な構造の建物は洋風のデザインも入り、狂いも少ないと言われている。石垣の上に土堀が回り、江戸時代の風情を感じさせる。



5 陽泰寺(ようたいじ)

望富山陽泰寺。真田一族の本家、海野氏が開基。「州浜(すはま)」の家紋が本堂の屋根に飾られており、鐘楼門(しゅろうもん)までの屈折した参道に趣がある。5月にはシャガ(アヤマ科)のうす青白い炉の花が咲き誇り見事。同寺の山号「望富山」は、ここから富士山が望めることに由来する。



6 砥石・米山城址大手口

築城時期や築城者は定かではないが、海野氏の属城であったと伝わる。この城は他とは少し違い、「樹形城」、「本城」、「砥石城」、「米山城」の4つの城を持つ連郭式城郭となっており、要害堅固な中世の山城である。村上義清、武田信玄、真田幸隆、昌幸、信幸、そして幸村達が多くドラマを残し、1622年、信之(信幸)の松代城転封に際して廃城となったといわれている。現在は登山口がメインの入口となっているが、この大手口が当時の正門だったと考えられている。



7 真田氏記念公園

このコースの中間地点。石碑は『真田太平記』の著者・池波正太郎氏の揮毫(きごう)によるもので、幸隆・昌幸・幸村のレリーフもある。



8 自性院

宝珠山自性院。曹洞宗の寺院で開基は村上義清の父・頼国と伝わるため、屋根の寺紋は「丸に上文字」。本堂は江戸中期に再建されたもので、本尊の横に安置される鬼子母神は安産や子供の成長にご利益があるという。



9 男石神社(おとこいしんじや)

この神社には数多くの男根の絵馬が奉納されており、縁結び・子孫繁栄・五穀豊穡などの祈願と、願いが叶ったお礼の印に収められ、上田市の有形民俗文化財にも指定されている。神社の背後には枯山水式庭園の原形ともいわれる見事な岩壁があり、パワースポットと呼ばれる場所となっている。



10 瀧宮神社(たきのみやじんじや)

境内にある岩壁の間から水が湧き出して瀧になり、地元の大切な水源になったためについた社名だといわれている。



15 下原バス停



14 出早雄神社(いずはやおじんじや)

この神社は古くから水を配る出配(いずへ)神社と呼ばれていたが、明治2年出早雄神社と改めた。社叢(しゃそう)はケヤキの巨木で主で拝殿前に5本の巨木があった。周囲8m、推定樹齢800年を超えるものもあったが、現在は2本が残るのみとなっている。



13 矢沢城址

築城時期は不明だが、矢沢薩摩守綱頼(真田幸隆の弟)の居城といわれている。全体の規模は東西150m×南北120mで主郭は東西15m×南北70m。第一次上田合戦では綱頼の嫡子頼康が徳川家康軍と対戦。1622年、信之(信幸)の松代城転封に頼康の弟・頼邦が追隨したため廃城となったといわれている。



12 良泉寺(りょうせんじ)

大安山良泉寺。天正3年(1575年)3月、矢沢薩摩守綱頼(真田幸隆の弟)が当寺を創立、菩提所としたと伝わる。元和8年(1622年)矢沢氏は真田氏について松代に移り、矢沢仙石氏が頼主となり当寺を菩提所とした。矢沢仙石氏は上田城主仙石忠政の子で政俊の弟の政勝をその祖とする。境内の奥には矢沢綱頼夫妻、矢沢仙石氏のお墓がある。



11 瀧水寺(りゅうすいじ)

大慈山瀧水寺。鎌倉時代(1290年)に開山されたとする真言宗の寺院で、真田幸隆の弟とされる矢沢頼綱によって再建された。寺の背後に迫る岩壁の中腹にある観音堂は京都の清水寺と同じ懸造(かけづくり)で建てられており、ここから見る夕方の景色は絶景。



赤坂將軍塚古墳

殿城地区赤坂集落の入口南側の台地上にある赤坂將軍塚古墳は、丸い形をした円墳(えんぶん)と呼ばれる古墳で、内部の石室は南側に入口をもつ横穴式の造り方をしています。古墳の規模は、東西の径約18m、南北径約17m、高さ約5mの大きさと、この地域の代表的な古墳のひとつとなっています。

